

重点環境施策4 温室効果ガス排出量の抑制に取り組みます。

前期指標	策定時現状値	実績値推移					前期目標
		H30	R1	R2	R3	R4	
再生可能エネルギー導入量 (説明) 風力発電所62,660kW 太陽光発電所10,153kW バイオマス発電所3,990kW (令和4年7月現在)	68,650 kW (H28)	76,803 kW	76,803 kW	76,803 kW	76,803 kW		158,000 kW
グラフ							
推移の分析・考えられる要因							
横ばい 風力発電にかかる複数の案件が形成されているものの、平成30年度から新たな導入がないため。 (令和4年末に84,000kWの港湾内洋上風力発電設備が運転開始予定)							

【後期計画に向けて】

指標の方向	継続
その理由 (削除の場合)	
R9目標値	目標値設定理由
400,000kW	能代市次世代エネルギービジョンのR10導入目標(P86)のうち、陸上風力の導入済み62,660kWに、能代山本広域風力の67,500kWと白神臨港1,990kWを上乗せ(合計132,150kW)。 洋上風力は港湾区域を84,000kWに補正、能代・三種・男鹿沖は160,000kW(478,800kW/3)を維持、八峰・能代沖を0kWへ補正(合計244,000kW)。 太陽光は10,153kWに公共施設分として500kWを上乗せ(合計10,653kW)。 バイオマスは現状の3,990kWに中国木材分として9,900kWを上乗せ(合計13,890kW) 総計400,693≒400,000kW
今後の施策の方向性、考えられる対策等	
さらなる産業振興のため、浮体式洋上風力も含めた次世代エネルギーの導入について研究していく。	
対応するSDGs目標	